

2014 愛知環境賞 応募申込書

共通様式

申込年月日 平成25年 ○月 ○日

<p>①</p> <p>分野</p> <p>(主たるもの1つに○をつけて下さい)</p>	<p>①. 3R</p> <p>2. 省エネルギー</p> <p>3. 省資源</p> <p>4. 新エネルギー</p> <p>5. 環境教育・啓発</p> <p>6. 環境美化</p> <p>7. 環境保全</p> <p>8. その他</p>	<p>②</p> <p>種類</p> <p>(注1)</p> <p>(該当する数字に○をつけて下さい)</p>	<p>①. 技術・事業</p> <p>2. 活動・教育</p>	<p>③</p> <p>実施主体</p> <p>(主たるもの1つに○をつけて下さい)</p>	<p>①. 大企業及び系列企業</p> <p>2. 中小企業・ベンチャー</p> <p>3. 組合・企業間グループ</p> <p>4. NPO・市民団体</p> <p>5. 教育機関</p> <p>6. その他</p>				
<p>④</p> <p>「技術・事業」 「活動・教育」 の名称</p>	<p>*表彰時に紹介するタイトルとして使用いたします。50文字以内で簡潔な名称をご記入ください。</p> <p>【例】</p> <p>ごみ焼却灰を再資源化した○○○製造事業<技術・事業></p> <p>地域に密着した○○○資源回収のネットワーク化と環境教育活動<活動・教育></p>								
<p>⑤</p> <p>申込者</p> <p>(注2)</p>	<p>1</p>	<p>(住所)</p> <p>愛知県○○市○○町○○</p> <p>(会社・団体・グループの名称)</p> <p>○○○○株式会社</p> <p>(代表者職氏名)</p> <p>代表取締役 ○○ ○○</p>	<p>社印または 代表者印</p> <p>印</p>	<p>2</p>	<p>(住所)</p> <p>名古屋市○○区○○町○○</p> <p>(会社・団体・グループの名称)</p> <p>特定非営利活動法人 ○○○○の会</p> <p>(代表者職氏名)</p> <p>代表 ○○ ○○</p>	<p>印</p>	<p>3</p>	<p>(住所)</p> <p>(会社・団体・グループの名称)</p> <p>(代表者職氏名)</p>	<p>印</p>

(注1) 「技術・事業」: 技術・製品の開発や事業システムの構築に関するもの (資源回収・再生システム、ネットワーク構築等)
「活動・教育」: 非営利な活動や教育に関するもの (企業におけるCSR活動等も含む)

(注2) 単独の企業等で申し込む場合には、申込者2、3の欄は空欄にしてください。
申し込みが3社を超える場合には、適宜、欄を追加してください。

共 通 様 式

⑥ 連絡先 (注3)	窓口となる担当	申込者名	〇〇〇〇株式会社
		部署名	〇〇〇〇部
		担当者氏名	愛知 太郎
		住所	〒123-4567 愛知県〇〇市〇〇町〇〇
		電話番号	×××-123-4567
		ファクシミリ番号	×××-123-4589
		E-mail アドレス	123@〇〇〇.co.jp
	申込者に関する概要・情報 <ul style="list-style-type: none"> ・業種：製造業 ・創立年月日：19〇〇年〇月〇日 ・資本金：3000万円 ・従業員数：30人 ・事業内容：〇〇〇の製造 		企業・団体・グループの組織・活動の概要が記載された資料（パンフレットなど）を別途添付してください。 複数の企業・団体・グループ等での申込の場合は、全ての申込者について、上記の資料を添付してください。

⑦背景・目的 <p>【例1（技術・事業）】 近年のゴミの増加により、一般廃棄物・産業廃棄物の処理で発生する焼却灰の処理の問題は深刻である（現在の状況などを説明）。それにより〇〇〇の問題が発生している。（どのような場所・業種において、どのような問題が発生している等説明）。そうした現状の中、ごみ焼却灰削減のための新しい技術開発が望まれている（どのような取組みが求められているかを説明）。そこで〇〇〇の再資源化により、廃棄物の削減と新しい再生利用促進のモデルの構築を目指す。（本提案の目的等）</p> <p>【例2（活動・教育）】 これまで、環境問題に関心の高い市民ボランティアによる小規模での活動が行われていたが（現状の説明）、〇〇〇等の問題や課題があった（現在の問題点、どのような取組みが求められているか等説明）。そこでこれらの活動をネットワーク化することにより、より効率的・効果的な資源回収・再資源化のための活動を目指す。（本提案の目的等）</p>		今回申請する「技術・事業」または「活動・教育」の、取組みの背景や目的について記入してください。（現状の説明、問題点、それに対してどのような要望があるか 等） また、パンフレットなど参考となる資料がありましたら添付してください。
--	--	--

⑧概要 <p>【例1（技術・事業）】 ごみ焼却灰を有効利用する方法として、〇〇〇を再資源化し、〇〇〇を製造する技術を開発した（どのような技術を持ち、事業を行うのか説明）。これにより処分場の埋立量が大幅に削減される（それによって得られる効果等を説明）等が可能であり、今後更なる広がりにつながるものである。</p> <p>【例2（活動・教育）】 これまでうまく機能していなかった個々の活動をネットワーク化する（どのような活動を具体的に説明）等により、効率的・効果的な資源回収を行う。〇〇〇〇の回収、〇〇〇〇の分別の活動の他、〇〇勉強会などを開催し（活動の内容等の紹介）、資源再生と地域住民への環境教育を目指した活動を行うものである。</p>		今回申請する「技術・事業」または「活動・教育」の、全体的な概要について記入してください。（詳細はNo.3の様式にて記載いただけますので、ここではおおまかな内容の説明で結構です。） また、パンフレットなど参考となる資料がありましたら添付してください。
---	--	---

(注3) 本申請に関する窓口となる申込者・担当者の情報をご記入下さい。

(複数の企業・団体・グループでの申込の場合は、代表となる申込者の連絡先情報のみで結構です。)

1. 「技術・事業」用様式

<p>⑨</p> <p>技術の独自性</p> <p>(該当する数字に○をつけて下さい)</p>	<p>1. 独自技術開発型</p> <p>2. 既存技術応用型</p> <p>3. 既存製品活用型</p> <p>4. 製造工程改善型</p> <p>5. 事業システム構築・改善型</p>	<p>⑩</p> <p>事業の進捗状況</p> <p>(該当する数字に○をつけて下さい)</p>	<p>1. 計画段階</p> <p>2. 技術開発完了</p> <p>3. 事業化検討段階</p> <p>4. 事業化段階</p> <p>5. 実施済み</p>
<p>⑪特徴・原理</p> <p>当該「技術・事業」の特徴、開発技術に関する原理について説明してください。 わかりやすく示した図やフローなども別紙にて添付してください。</p>			
<p>⑫先駆性・独創性</p> <p>当該「技術・事業」について、先駆性、独創性があるとしてアピールしたい点を記入してください。 既存の競合・代替・同種技術や事業がある場合には、その概要及びそれと比較した際の新規性、優越性、独自性を記入してください。</p>			
<p>⑬環境負荷低減効果</p> <p>当該「技術・事業」により省エネ、省資源、廃棄物の削減、CO2 の排出削減等、実績のあった（または実績の見込まれる）環境負荷低減効果について記入してください。</p>			
<p>⑭事業の進捗状況・実績・成果</p> <p>当該「技術・事業」に関する取組みの進捗状況、及びこれまでの実績・成果について記入してください。 当該「技術・事業」に関連する、特許・論文・評価実績の有無と、それについてアピールすべき点などがあれば記入してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 特許・論文掲載の有無：特許取得済（特許番号 特願 2008-○○○○○○○「○○○○○○○○」） ・ 受賞歴：○○財団「○○賞」（○○年）、○○学会「○○賞」（○○年） 			
<p>⑮社会・業界等への影響・波及効果</p> <p>当該「技術・事業」がもたらす社会・業界への影響・波及効果などについて記入してください。 具体的な製品の形となるものについては、そのイメージ・性能・特徴等も含めて、競合製品やバージン原料を使用した場合と比較した優越性なども合わせて記入してください。</p>			
<p>⑯地域（愛知県）との関わりについて</p> <p>当該「技術・事業」が愛知県内にもたらす（または今後もたらすことが期待される）効果や実績など、この地域との関わりについて記入して下さい。</p>			

1. 「技術・事業」用様式

「2014 愛知環境賞」事例集原稿用紙 (A4版)

「技術・事業」の名称	【例】ごみ焼却灰を再資源化した〇〇〇製造事業	
会社・団体・グループなどの名称	〇〇〇〇株式会社、 特定非営利活動法人 〇〇〇〇の会	<連絡先> 住 所 〇〇市〇〇町△△1番地 電話番号 〇〇〇〇-〇〇-△△△△ URL http://www.〇〇〇.co.jp Mail 〇〇〇@△△△.ne.jp

【以下、過去の優秀賞受賞事例の記載例】

1. 概要

吸水性樹脂を含んだ「どこでも緑化マット」(写真-1)は、吸水性樹脂本来の吸水・排水能力を最大限に発揮し、耐踏圧性能を持たせた製品である。また吸水性樹脂は植物に適した吸水排水を繰り返す製品を使用した。

高保水量・高保水力の効果を有することから、雨水の有効利用や、薄層・軽量化が実現できたことにより、今まで荷重制限のあった既設建物の屋上の全面緑化が可能となった。緑化可能面積が増加すれば都市型洪水の緩和やヒートアイランド現象の抑制にも効果を発揮する。

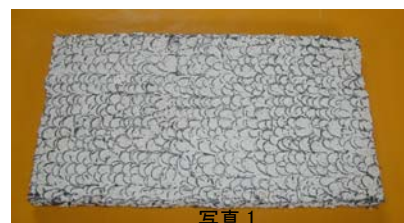


写真1

2. 先駆性・独創性

- ① 保水力の高いといわれている従来型の緑化基盤材も、最大に保水してから4日経過後の保水量は容積の約50%まで減少するが、「どこでも緑化マット」は4日後でも緑化基盤材容積の約70%保水している。
- ② 従来の緑化マットは持ち上げると緑化基盤内の水が流出したり、折れ曲がったりしていたが、「どこでも緑化マット」は軽量・保水力のある板状成型品であり、水が流れ出にくい構造となっているため縦面緑化にも使用できる。(写真-2)
- ③ 従来の緑化マットは緑化基盤材の下に水が滞水するため排水層を必要としていたが、「どこでも緑化マット」は吸水機能(種類により5~20cm緑化基盤材底面の水を吸い上げる)が高いため、排水層は不要である。
- ④ 保水能力低下の際は、吸水性樹脂を含んだ液状保水剤を充填すれば、保水能力は回復する。



写真2

3. 環境負荷低減効果

- ① 高保水量(約700l/m³、人工軽量土壌は約100l/m³)により屋上やベランダ付近の芝緑化が容易に行え、灌水のメンテナンスは夏期以外ほぼ不要になり、雨水を有効に利用できる。
- ② 芝を植生した場合、外気温35℃、芝面40℃、スラブ面47℃の時、「どこでも緑化マット」の底面温度は28℃と表面温度の上昇抑制効果がある。(図-1)
- ③ ポリプロピレンや無機繊維を原料とするリサイクル材を90%以上使用している。
- ④ 保水機能が低減した場合は液状保水剤を充填すれば機能が回復する為、「どこでも緑化マット」自体の再利用が可能である。

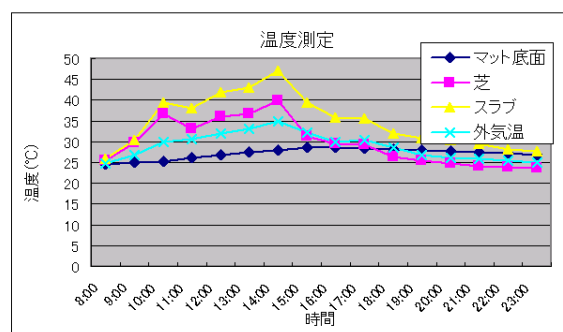


図-1

2. 「活動・教育」用様式**⑨先駆性・独創性**

当該「活動・教育」について、先駆性、独創性があるとしてアピールしたい点を記入してください。既存または類似する活動・教育がある場合にはその概要と、それと比較した際の新規性、優越性、独自性を記入してください。

⑩啓発効果

県民・企業・NPO・その他の団体等に対する環境配慮意識の啓発効果、新しい生産スタイルや生活スタイルの構築に向けてのアピール性（計画中の活動・教育については、期待できる啓発効果）について記入してください。

⑪これまでの経緯・実績・成果

当該「活動・教育」について、これまでの経緯や活動実績、その成果などについて記入してください。またこれまでに評価実績（業界団体からの表彰など）がある場合は、それについても記入してください。

- ・ 受賞歴：〇〇財団「〇〇賞」（〇〇年）

⑫今後の展開計画・継続性

当該「活動・教育」について、今後の展開計画と継続可能性について記入してください。

⑬連携・協働の内容・可能性

当該「活動・教育」において、行政・企業・NPOその他の団体等、多様な主体と連携・協働（協力）して行ってきたこと、または今後の活動における連携・協働の可能性について記入してください。

⑭地域（愛知県）との関わりについて

当該「活動・教育」が愛知県内にもたらす（または今後もたらすことが期待される）効果や実績など、この地域との関わりについて記入して下さい。

用紙「2014愛知環境賞」事例集原稿(A4版)

「活動・教育」の名称	【例】地域に密着した〇〇〇資源回収のネットワーク化と環境教育活動	
会社・団体・グループなどの名称	〇〇〇〇株式会社、 特定非営利活動法人 〇〇〇〇の会	<連絡先> 住 所 〇〇市〇〇町△△1番地 電話番号 〇〇〇〇-〇〇-△△△△ URL http://www.〇〇〇.co.jp Mail 〇〇〇@△△△.ne.jp

【以下、過去の優秀賞受賞事例の記載例】

1. 概要

〇〇〇〇は、レジ袋削減・ごみ削減を目的に平成11年に設立しました。そして、〇〇市共通シール制度を平成12年に開始しました。しかし、シール制度による特典のみでは限界があると考え、平成20年4月からはレジ袋の無料配布中止を市内全域で本格的に実施いたしました。

一方、制度のみで環境をよくしていくことの困難さも感じ、平成15年度からは、出前講座を開始しました。〇〇市が平成21年1月に環境モデル都市に選定されたことにより、活動の中心をごみ削減からCO2削減に大きくシフトし、市民の消費活動に加え、森林・民生・交通を中心にし、さらに健康・福祉といった異なる活動分野の横断的連携を図るため、平成21年6月に〇〇〇エコポイント制度を創設いたしました。

2. 先駆性・独創性

まず、〇〇市共通シール制度では全国に先駆け、各店舗独自の環境配慮ポイントを統一化し、市内×××店舗で共通利用できるようにするとともに、金券利用以外の利用へも拡大しました。次に、レジ袋無料配布中止では、平成20年度に市内のほとんどの大型店舗で実施を開始し、辞退率は約90%に達しています。最後に、〇〇エコポイント制度では、従来のシール制度を発展させ、ポイント発行を地球温暖化防止に貢献できるものに大きくシフトしました。また、2005愛地球博で始まったEXPOエコマネーのポイント管理システムを活用し、従来のようなシールの他に携帯電話や電子マネーに使われているカードなどの製造IDを利用し、△△市・◆◆市・▲▲町など周辺市町村とのポイントの相互利用も可能にしました。

3. 啓発効果

(1) 買物袋持参運動

買物という日々繰り返される行為において、当たり前のように貰っていたレジ袋を断ることがライフスタイルを見直すきっかけとなり、CO2の排出削減やごみの削減などに繋がり波及効果を生んでいます。

【〇〇市共通シールの実績】

- ・レジ袋辞退率：12.2% (H12年度) → 88.0% (H20年度)
- ・レジ袋無料配布中止開始年の1年間 (H20.4.1~H21.3.31) の削減枚数：2,950万枚

(2) 出前講座

平成19年度

開催講座数：48講座
受講者人数：10,134人

平成20年度

開催講座数：42講座
受講者人数：11,509人

平成21年度

開催講座数：45講座
受講者人数：22,562人

